



NO.1415
5月21日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二四四五八
四三二四四五七



市が抱える懸案の解決、熟議を尽くす

市議選後、初の議会が15、16日の2日間にわたり開かれました。議長選挙については最大派の民主市民ネットから平賀貴幸氏を推薦し、他の会派からの候補擁立がなく、平賀貴幸氏を指名推薦することになり、本会議で選出されました。次に、副議長については選挙により、選出することになりました。

投票の結果、研政会の立崎聡一氏(60歳・4期)が13票、日本共産党議員団の松浦敏司氏(70歳・7期)が2票、白票が1票となり、立崎聡一氏が副議長に選出されました。日本共産党議員団は、検討した結果、独自の候補を立てました。松浦議員団長は、「研政会は3人と第二会派ですが、今年2月に志誠会を抜け出て、議会を混乱させたことから、独自の候補を立てた」と話しています。

また、監査委員には栗田政男氏(63歳・5期)が選出され、議会運営委員会委員長に金兵智則議員が、副委員長に古田純也議員が就任することになりました。

また、定例会は6月13日(火)から行われ、一般質問は20日(火)と22日(木)の予定です。



市議選後、初の議会が15、16日の2日間にわたり開かれました。議長選挙については最大派の民主市民ネットから平賀貴幸氏を推薦し、他の会派からの候補擁立がなく、平賀貴幸氏を指名推薦することになり、本会議で選出されました。次に、副議長については選挙により、選出することになりました。

会派	議員名
民主市民ネット(4人)	山平金深、田賀兵津、庫貴智晴、司幸則江
研政会(3人)	井立古、戸崎田、達聡純
公明クラブ	永澤、本谷、浩淳
日本共産党議員団	松村、浦椿、敏敏
同志会	栗小田、田部、政男照
希政会	石里、垣見、直哲
無会派	古都、宣裕

初議会が15日、16日の二日間行われて議長、副議長を選んで常任委員会の所属を決めて委員長、副委員長が選ばれました。今回の特徴は、各常任委員会と議会運営委員会が副委員長が2期目の議員になったことです。私の記憶では初めての事です。

共産党議員団からは村椿議員が文教民生委員会副委員長に就任しましたので、苦勞するかもしれませんが、大きく成長してくれるものと期待しています。

私は、総務経済委員会と議会運営委員会、網走消防組合の議員になりました。総務経済委員会は所管する範囲が企画総務から農林水産、観光商工、建設港湾、水道部、農業委員会、新庁舎開設準備までと幅広いので大変ですが、市民の期待に応えるため頑張りたいと思います。2年後の折り返し点で、所属の変更がありますが、それまで任務を全うします。



網走市は雨が少なく災害が少なくと言われているが、がけ地が多く、土砂災害警戒区域に隣接する住宅が多いのが特徴です。大雨時には、市はがけ地の見廻りをしています。4月に土砂災害警戒区域の法面が崩れていると情報があり、現地を確認し、住民の方からお話を聞きました。「昨年からは少し崩れ、今年春に大きく崩れた。早く直した方が工事費はかからないで済む。」とのことでした。

早速、市の都市管理課に連絡したところ、管理は土木現業所がしていて、今年中に直したいとのことでした。その旨を住民の方に話すと、「すぐ脇に側溝があり、上流からくる水が流れる様に側溝に生える草を私がとっている。ちゃんと管理して欲しい。」

警戒区域に住む市民は雨が心配ですから、日頃から見廻りをし、草取りもしているのです。管理する行政は、もっと現地に入り、住民の話を聞いて早急に直すべきだと、改めて管理者に話そうと思いました。

初議会が15日、16日の二日間行われて議長、副議長を選んで常任委員会の所属を決めて委員長、副委員長が選ばれました。今回の特徴は、各常任委員会と議会運営委員会が副委員長が2期目の議員になったことです。私の記憶では初めての事です。

共産党議員団からは村椿議員が文教民生委員会副委員長に就任しましたので、苦勞するかもしれませんが、大きく成長してくれるものと期待しています。

私は、総務経済委員会と議会運営委員会、網走消防組合の議員になりました。総務経済委員会は所管する範囲が企画総務から農林水産、観光商工、建設港湾、水道部、農業委員会、新庁舎開設準備までと幅広いので大変ですが、市民の期待に応えるため頑張りたいと思います。2年後の折り返し点で、所属の変更がありますが、それまで任務を全うします。

みなさん、日本共産党のイメージはどんな感じでしょうか。中国やロシアを想像したり、名前を変えた方がいいという方もいるでしょう▼日本共産党は、党創立101周年を迎えます。戦争反対や平和を心から望んでいる政党です。小林多喜二や伊藤千代子は戦争に反対したため、働く人々の権利を守るために力を合わせようと頑張っていました。しかし、国の特別高等警察に逮捕されて酷い拷問を受けて死んでしまいました。何ひとつ悪いことをしていないのに、国策に逆らったとして投獄され殺されたのです。武器を持たないで平和を願うことは当たり前なことではないでしょうか▼例えば、赤ちゃんの柔らかい肌を優しく守るのは人の手の温もりだったりふわふわの毛布だったりするはず▼冷たい鉄でできた武器ではないはず。その戦争に使う武器は敵と味方を作るだけなのではないでしょうか▼今、岸田首相が大軍拡や大増税に突っ走っているのをどうしても食い止めたいです。

直ちゃん